

議請第13号 「消費税10%への増税中止を求める意見書提出を求める請願」

採択

議請第13号は、政府に対して消費税10%への引き上げ反対を求める意見書の提出を願う内容です。

今年4月に消費税が5%から8%へと増税されました。これは、国と地方の厳しい財政状態を立て直す為と、社会福祉財源の充実と安定化が目的と言われていました。

そして、増税から半年が過ぎ、先月行われた日本世論調査会の世論調査によれば、国民の間には、「家計のやりくりが厳しくなった」と感じている人が8割にも達しているとの事です。また4月の増税前に比べて「消費を控えている」という方も約4割います。

安倍首相及び自民党と公明党が進める、いわゆるアベノミクスと称する経済政策が失敗だった事は明らかです。

また国会においては、安倍首相も約束した議員定数削減などの「身を切る改革」が全く進んでいません。

財政再建と持続可能な社会保障制度の創設の為には、将来的な消費税の再増税を否定するものではありません。

しかし消費が冷え込み、景気が回復せず、多くの国民が景気回復を実感できない状況にある中、更に国会議員自身が約束をした議員定数削減など身を切る改革を行わず、再増税に対して国民の理解が得られない現状では、県民生活を守る立場から、来年10月からの10%への増税には、反対です。

よって本請願につきましては「採択」をすべきものと考えます。

なお、政府には先ずは現行の税制の中でしっかりと税収が確保されるよう、景気の回復と国民の可処分所得が増える事により税収の自然増がなされるよう、一般国民の立場に立脚した正しい経済政策を実行するよう強く求めます。

以上